

補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	一般財団法人函館市住宅都市施設公社緑化推進事業補助金	開始 年 度	平成3年度
団 体 名	一般財団法人函館市住宅都市施設公社		
助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	函館市補助金等交付規則		

○補助事業の内容および目的・効果

内 容	花と緑の相談事業・各種講座の開催・企業花壇普及事業・イベント開催事業・緑化普及事業・花と緑のパートナーシップ募金事業・学校緑化活動サポート事業・ポケットパーク整備事業・癒しの花キューピット事業・ボランティア推進事業
目 的	(目 的) 市民の緑化意識の普及啓発および市民との協同による花と緑のまちづくりの推進に資することを目的とし、自主事業により緑化事業を全市的かつ総合的に事業展開している一般財団法人函館市住宅都市施設公社に事業費の一部を補助している。
・ 効 果	(効 果) 公社の各種事業を通じ、公共空間や民有地（病院・医療施設）の緑化推進がなされているほか、花と緑に係る講座開催、市民からの緑化相談への対応や、市民参加による緑化活動により、市民の緑化意識の高揚や市民協働による花と緑まちづくりの推進につながっている。

○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金		計
		市	その他					
収 入	26							0
	27							0
	28							0
	29							0
	30							0
支 出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体負担金等			計
	26			7,186				7,186
	27			7,115				7,115
	28			7,115				7,115
	29			7,115				7,115
	30			7,115				7,115

補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	一般財団法人函館市住宅都市施設公社緑化推進事業補助金
----------------	----------------------------

○基本的視点の再チェック

基本的視点		適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	☒ ☒ ☒	☐ ☐ ☐	市の緑化政策を定めた「函館市緑の基本計画」に基づき公社が全市的に実施する緑化推進事業で、市民の緑化意識の高揚や自発的な緑化活動を誘導・育成し、市民協働による花と緑のまちづくりの推進に繋げていくものであり、公益性がある。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	☒	☐	当該事業は、公共空間や民有地の緑化推進に貢献しているほか、市民の緑化意識の高揚や市民協働の緑化活動への誘導事業であることから、継続的に実施していく必要がある。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	☒	☐	事業実施にあたり、緑の羽根募金や市民・企業などから、協賛金を集めるなど積極的に自主財源確保につとめており、自主自立に向け努力している。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	☒	☐	当該事業は、市民協働による緑化活動が大きな柱となっており、補助による事業実施は、行政と住民が一体となって政策の目的を実施できる最適な手法となっている。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

○財政的視点のチェック

財政的視点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	☐	
2	補助金等の使途は適切である	☐	
3	積算基準は定められている	☐	
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	☐	
5	前年度繰越金は生じていないか	☐	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	☐	
7	経常経費の節減に努めているか	☐	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名
(交付金名)

一般財団法人函館市住宅都市施設公社緑化推進事業補助金

○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)

当該事業に参加する参加者数・参加団体

(達成状況)

H28参加人数・参加団体数 (23事業のうち効果を数値化できる事業)	9,753人	84団体
H29参加人数・参加団体数 (23事業のうち効果を数値化できる事業)	10,094人	82団体
H30参加人数・参加団体数 (23事業のうち効果を数値化できる事業)	8,206人	74団体

※継続事業は、直近の実績 新規事業は、効果のみ記載してください

(評価)

十分効果をあげている ☒
 一定の効果をあげている ☐
 効果が疑問である ☐
 その他 ☐

(理由)

当該事業は、当市緑化政策における根幹的事业で、長年の事業展開により市民に定着しており、市民の緑化意識の高揚や市民協働による花と緑のまちづくりを推進するうえで十分な効果を上げていると考えている。

○今後の方向性

☐ 現行のまま補助を継続

☒ 見直したうえで補助を継続

☐ 廃止

☐ その他

(見直しの内容)

事業内容を精査し、さらなる経費削減に努める

(見直しの時期)

(廃止の理由)

(廃止の時期)

(その他の内容)

○終期の設定

終期設定

平成 30 年度

☐

終期到来により廃止

☒

終期到来時に再検討

次回チェック年度(予定)

令和 3 年度